

情報連絡員報告を中心とした

# 県内の中小企業動向

平成27年6月期

情報連絡員50名 回答数50名

## 全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。  
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

### 前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4から9に増加。「減少した」業種は7から3に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から9に増加。「減少した」業種は9から7に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は9から6に減少。

### 前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は6から7に増加。「減少した」業種は7から10に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は11から9に減少。「減少した」業種は9から8に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は6から8に増加。「悪化した」業種は13から11に減少。

## 製造業

### しょうゆ製造

【県内全域】

下総醤油(ちば醤油の商品)を、さんまがマツコデラックスにグイグイ勧め、マツコデラックスも大絶賛。7/2フジテレビにて放映されネット上で大反響。会社も対応に嬉しい悲鳴をあげている。

### 漬物製造

【県内全域】

円安の影響大。

### 豆腐製造

【県内全域】

国内大豆の作付面積が15%拡大した。マスクミから豆腐が頻繁に取り上げられ、消費者ニーズが変わりつつあるように思える。京都で行われた第5回豆腐屋サミットで全国から300名弱の豆腐屋が集まり、豆腐談義で盛り上がっていた。

### 酒類製造

【県内全域】

売上はやや低調に推移。26年度と同様。長期低落傾向から脱したとは言えない状況。

### 牛乳小売

【県内全域】

各社とも夏場に向かって新製品の発売をしている。

### 印刷

【県内全域】

景況の変化について、6月の県内組合員受注売上は、5月と比較して営業日が4~5日多い事もあ

り増加した模様です。新年度の昇給に加え、夏季賞与支給に関する増加の報道、更には緊急経済対策のプレミアム商品券販売開始等、経済活性化策による刺激で需要が着実に活発化しつつあり、印刷の需要も増加になっているようです。

### 電気鍍金

【県内全域】

シーズンのなものもあり、忙しいように感じましたが、結果は昨年より10%近く減っていました。

### 鉄工

【千葉】

足元の各社動向は、売上・収益状況等に特段変化見られず、横ばい推移が続いている。

### 機械部品製造

【柏】

受注が短期間で増減。対応に苦慮している。業界の動向は、変種変量の発注形態が多くなり、従来製造方法では対応が難しい。新しい生産方法を含め、大きな変革が必要になってきています(新技術・新工法・素材等)。

### 金属製品製造

【船橋】

緩やかな回復傾向にあるが、先々は不透明な状況。業界動向は、雇用も拡大しつつ上昇基調にある。

### 採石

【県内全域】

景況感は、出荷は先月より多少

増加傾向にある。昨年に比較して大幅増となっているが、油の価格が高騰傾向にあるから予断を許さない。需要があるものの、供給に制限がある。経済の好況について、燃油価格の引き上げが予想されるなど、今後の見通しがつかない。

### 非製造業

#### 【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【鶏卵卸】 例年夏場は需要減少期で価格低下するが、今年は円安によるコストアップから仕入価格高止まりしており、納入価格が押し上げられていることから採算性が厳しい。

#### 【自動車解体】 【県内全域】

新車販売台数が対前年割れが続いている、廃車発生台数も少ない。輸出車両の増加も一因と思われる。スクラップ価格は月末にかけ下げ傾向。業界動向は、自動車リサイクル法の評価、見直し論議の中で素材リサイクルについて今までにない取り組み（樹脂、ガラス、レアメタル等）が求められる。

#### 【乾物卸売】 【県内全域】

景況の変化は、引き続き低調。業界動向は、新食品表示基準の施工に伴い、栄養成分表示の義務化・

原材料表示、製造所固有記号のルール改善等を受け、海苔業界としても従来基準の見直しを図っている。（2020年までの経過措置）。

#### 【卸売】

#### 【茂原】

現在、組合間では景況自体あまり良い状態ではありません。動きもあまり芳しくはありません。良い悪いがはっきりしているようにも思われます。都市部では、好景況で騒いでいるが、地方では不況のようです。

#### 【電気機器小売】

#### 【県内全域】

景況の変化について、厳しさは相変わらずで、景気の上昇は期待できない。天候が不順で比較的暑い日が続いた影響で、エアコンの動きがみられる。また、プレミアム券が出回れば期待できる。

#### 【青果小売】

#### 【千葉市】

売上はそこそこ良い値となったが、仕入価格が高いため、利益は今月も取りにくい状態であった。夏商品が下旬から出回ってきたので7月は期待したい。

#### 【小売】

#### 【東金】

景況の変化について、ファッション関連品は、引き続き件数が減少傾向。父の日も期待通りでは

なかった。日用品関連は、動いているが客単価の減少傾向が続いている。食品関係は、商品の値上げ傾向が続いている。飲食店も値上げ傾向。

#### 【小売】

#### 【野田】

来月、市のプレミアム商品券が発行される。セール・イベントなどを開催し、集客増・売上増を期待している。

#### 【小売】

#### 【県内全域】

相変わらず悪化している。前年比前月比が増加しているのは野菜の価格が高かったため。

#### 【小売・サービス】

#### 【柏】

景況の変化について、当組合は商店会であるので小売、飲食、サービスで構成されているため個人消費が大きく左右するが一向に消費意欲は乏しい。柏市プレミアム商品券に期待するところが大きい。

販売方法と告知が行き届いていなかったためか購入申込みが思いのほか少なく販売残が出て追加受付を実施することとなった。只、商品券交換商店会に当商店会が指定されたので販売増強に繋がることに期待するところは大きい。

#### 【学習塾】

#### 【県内全域】

景況の変化は、4月以後の入塾

生の数は、前年よりやや減少気味。

#### 【土木建築サービス】

#### 【県内全域】

景況の変化について、政府の地方創生への取組みが進められる中で、6月の日銀短観では、民需主導の景気回復で出遅れていた中小企業にも改善の兆しと報じられているが、中国経済の減速やギリシャの債務返済問題など、海外経済の動向をリスクと見る動きもあり、予断を許さない状況。

業界の動きについて、地籍調査関連の予算措置が芳しくない状況にあることから、国県へ向けた全体的な署名活動に取組んでいる。新技術の開発関連では、ドローンを使用した測量の在り方（災害現場等）が、国からの指示もあり、今後の研究課題となっている。

#### 【ソフトウェア】

#### 【県内全域】

先月から特に大きな動きなし。業界動向は、マイナンバー対応の需要。IoTへの関心が高まっており、各地で研究活動が始まっている。

#### 【建設】

#### 【浦安】

6月は市川市立小中学校の改修（トイレ等）工事の発注が増加してきている。